

平成 29 年 1 月

講演会 「高温ガス炉の拓く未来社会」
高温ガス炉プラント研究会 第 11 回定期講演会
開催のご案内

高温ガス炉プラント研究会 事務局
株式会社桜門イノベーションリサーチ

21 世紀において 70 億人を超えた人類は、水・資源・エネルギー確保、地球環境の保全、社会経済の発展という 3 つの課題を同時解決し、持続可能な発展を達成しなければなりません。これらに対して原子力は大きく貢献すべきであり、また期待されていると考えます。かかる観点から、原子力エネルギーを有効に活用するには、安全性確保を第一にし、発電のみならず発生する熱をも有効に活用していく必要があります。この原子力エネルギーの安全かつ拡大利用の一層の向上に応えるものとして、高温ガス炉プラントは大きな可能性を持っていると考えられます。

高温ガス炉プラント研究会では、大きな夢につながる技術として若い世代の方々にも関心を深めていただくために、学生・大学院生及び研究機関・産業界の研究者・エンジニアを対象にした講演会を定期的で開催しております。今年度は昨年度に引き続き、東京大学と共催いたします。多数の方々の参加をお待ちしています。

- ・ 日 時 : 平成 29 年 1 月 30 日 (月) 13:00 ~ 17:00 (開場 12:30)
- ・ 場 所 : 東京大学 武田先端知ビル 武田ホール
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
(交通アクセス: http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_16_j.html)
- ・ 参加費 : 無料
- ・ 主 催 : 東京大学、高温ガス炉プラント研究会 共催
- ・ 後 援 : 国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構
- ・ 定 員 : 100 名
- ・ 参加申込み : 参加者の氏名、所属、連絡先をご記入の上、平成 29 年 1 月 23 日 (月) までに、e-mail にて事務局宛にご連絡下さいますようお願いいたします。
(高温ガス炉プラント研究会事務局 E-mail: omonrahp@jcom.zaq.ne.jp)
なお申込みが定員に達した場合は、受付を締め切らせていただきます。

「高温ガス炉プラント研究会」は、事務局を株式会社桜門イノベーションリサーチに置き、岡本孝司東京大学教授を会長として学識経験者、電力、メーカー他で構成し、高温ガス炉プラントに関する技術、経済性、安全性、内外動向、開発シナリオの検討、理解活動等を行っています。

講演会 「高温ガス炉の拓く未来社会」
 高温ガス炉プラント研究会 第11 回定期講演会
 ◆ プログラム ◆

高温ガス炉プラント研究会 事務局
 株式会社桜門イノベーションリサーチ

日 時	平成29年1月30日(月) 13:00 ~ 17:00 (開場 12:30)
場 所	東京大学 武田先端知ビル 武田ホール
主 催	東京大学、高温ガス炉プラント研究会 共催
後 援	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構

司会：岡本 孝司 高温ガス炉プラント研究会会長(東京大学教授)

1. 開会挨拶 (13:00~13:10)	高温ガス炉プラント研究会 岡本 孝司会長
2. 来賓挨拶 (13:10~13:15)	小川 浩司 氏 (文部科学省 研究開発局 原子力課 課長補佐)
3. 「高温ガス炉プラント研究会の活動」 (13:15~13:20)	高温ガス炉プラント研究会 山本 一彦会長代理 (公益社団法人日本工学会 事務局長)
4. 基調講演 「トランプ新政権下の米国エネルギー政策」 (13:20~14:00)	松井 一秋 氏 (一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問)
5. 水素社会構築への取り組み (1) 講演 「高温ガス炉による水素製造」 (14:00~14:40)	國富 一彦 氏 (国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 高温ガス炉水素・熱利用研究センター長)
* * * * * 休 憩 (14:40~14:50) * * * * *	
(2) 講演 「製鉄業における水素の利活用」 (14:50~15:30)	内藤 誠章 氏 (日鉄住金テクノロジー株式会社 資源・プロセス ソリューション部長)
6. 高温ガス炉開発の現状と見通し (1) 講演 「高温ガス炉研究開発の状況と国際協力」 (15:30~16:10)	柴田 大受 氏 (国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 高温ガス炉水素・熱利用研究センター 国際共 同試験グループリーダー)
(2) 講演 「高温ガス炉の開発戦略」 (16:10~16:50)	岡本 孝司 氏 (東京大学大学院工学系研究科 原子力専攻 教授)
7. 閉会 (16:50~)	高温ガス炉プラント研究会 大橋 一孝 氏 (富士電機株式会社 原子力技術部)

・講演4~6・・・発表 30 分+質疑応答 10 分

11th RAHP Annual HTGR Symposium
- Future Society Being Opened by HTGR -
RAHP : Research Association of HTGR Plant

- 1) Date : 1300 to 1700, January 30 (Monday), 2017
- 2) Place : Takeda Hall, Tokyo University, Tokyo, Japan
Traffic access : http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_16_j.html
- 3) Presentations (Chairperson: Prof. Okamoto) :
 - Opening Remarks (13:00-13:15)
Koji Okamoto, Chairperson of RAHP, Prof. of Tokyo University
Koji Ogawa, Deputy Director, Atomic Energy Division, Research and Development, Bureau of MEXT
 - Activity of RAHP (13:15-13:20)
Kazuhiko Yamamoto, Co-Chairperson of RAHP
Secretary General, The Japan Federation of Engineering Society
- “ Key Note Speech ”
 - The US Energy Policies under Trump Administration (13:20-14:00)
Kazuaki Matsui, Senior Fellow, The Institute of Applied Energy
- “ Efforts to Build a Hydrogen Society ”
 - Heat Application of HTTR (14:00-14:40)
Kazuhiko Kunitomi, Director General, Nuclear Hydrogen and Heat Application Research Center, Sector of Nuclear Science Research of JAEA
 - Coffee break (14:40-14:50) -
 - Advantage of H₂ in the Iron and Steel Industry (14:50-15:30)
Masaaki Naito, Resource and Process Solution Division, Nippon Steel & Sumikin Technology Co., Ltd.
- “ Current Situation and Outlook of HTGR Development ”
 - HTGR Development in Japan and the Rest of the World (15:30-16:10)
Shibata Taiju, Group Leader, Nuclear Hydrogen and Heat Application Research Center, Sector of Nuclear Science Research of JAEA
 - Strategy of HTGR Development
Koji Okamoto, Chairperson of RAHP, Prof. of Tokyo University
 - Closing Remarks (16:45-17:00)
Kazutaka Ohashi, Member of RAHP, Fuji Electric Co., Ltd.

10minutes of Questions and Answers are included in presentation times.

Secretariat of RAHP :
The Omon Innovation Research, Inc
E-mail: omonrahp@jcom.zaq.ne.jp